

中嶋嶺雄氏

(東京外語大学教授)

今回の胡耀邦総書記の辞任は端的に言えば、鄧小平体制の内部分裂の露呈だ。

中国はこのところ、鄧主導の開放体制によるさまざまな

胡耀邦総書記が辞任

学生運動が引き金となった中国の政変は十六日、劇的な展開を見たが、これによって中国の近代化路線はどんな影響を受け、日中関係にはどのようなね返りがあるのか。専門家に今後の見通しなどを聞いてみた。

中国の政変と言えば、これまで決まって国民経済五カ年計画がスタートする年に起きていた。文化大革命のぼつ発も、第三次五カ年計画初年度の一九六六年だった。林彪事

鳴倉民生氏

(愛知大学教授)

矛盾が出ていた。保守派(私には原則派と呼んでいるが)の陳雲政治局常務委員がこのひずみを追及、かなり力をつ

平主流派指導部、保守派を含め、胡氏が学生デモを鼓舞して「大いにやれ」と言っている。その責任の取り方を巡って、鄧小平指導部内に分裂が

きりつてきた。胡氏はこの混乱ぶりだ。八十二歳の高齡の鄧氏がなくなると、中国はどうなるのか、極めて不安定な政治状況にな

え、この混乱ぶりだ。八十二歳の高齡の鄧氏がなくなると、中国はどうなるのか、極めて不安定な政治状況にな

今回の胡氏更迭は、党内手続きを踏んだといえ、鄧氏が自らの政治路線維持のために胡氏の首を切ったとみて間違いない。本来中央顧問委主任に過ぎない鄧氏が、党最高

今回の胡氏更迭は、党内手続きを踏んだといえ、鄧氏が自らの政治路線維持のために胡氏の首を切ったとみて間違いない。本来中央顧問委主任に過ぎない鄧氏が、党最高

【大阪】後藤田官房長官は十六日夜、訪問先の大阪市内で、中国共産党の胡耀邦総書記が辞任したことについて「中国の内政上の問題なので、人事のものにはコメントできない。しかし、中国という強大な国の共産党指導者交代は、国際関係に大きな影響を与え、ことは間違いない」と述べるとともに、「中国が試練を乗り越えて、より発展、安定し、その背景の中で日本との友好関係がいつまでも維持されていくことを心から念願する」と語った。



「ことだ。今回はその責任を取らされたというのが最大の理由だろう。」

現在、開放政策の支柱となっていた鄧氏を失脚させるわけにはいかない。そんなこと

「ことだ。今回はその責任を取らされたというのが最大の理由だろう。」

現在、開放政策の支柱となっていた鄧氏を失脚させるわけにはいかない。そんなこと

「ことだ。今回はその責任を取らされたというのが最大の理由だろう。」

現在、開放政策の支柱となっていた鄧氏を失脚させるわけにはいかない。そんなこと

専門家の見方

「ことだ。今回はその責任を取らされたというのが最大の理由だろう。」

現在、開放政策の支柱となっていた鄧氏を失脚させるわけにはいかない。そんなこと

「ことだ。今回はその責任を取らされたというのが最大の理由だろう。」

現在、開放政策の支柱となっていた鄧氏を失脚させるわけにはいかない。そんなこと

「ことだ。今回はその責任を取らされたというのが最大の理由だろう。」

件、天安門事件などもその例にもれない。そして、一九八六年は第七次五カ年計画の第

「ことだ。今回はその責任を取らされたというのが最大の理由だろう。」

現在、開放政策の支柱となっていた鄧氏を失脚させるわけにはいかない。そんなこと

「ことだ。今回はその責任を取らされたというのが最大の理由だろう。」

現在、開放政策の支柱となっていた鄧氏を失脚させるわけにはいかない。そんなこと

「ことだ。今回はその責任を取らされたというのが最大の理由だろう。」

現在、開放政策の支柱となっていた鄧氏を失脚させるわけにはいかない。そんなこと

経済改革の犠牲



「ことだ。今回はその責任を取らされたというのが最大の理由だろう。」

現在、開放政策の支柱となっていた鄧氏を失脚させるわけにはいかない。そんなこと

「ことだ。今回はその責任を取らされたというのが最大の理由だろう。」

現在、開放政策の支柱となっていた鄧氏を失脚させるわけにはいかない。そんなこと

「ことだ。今回はその責任を取らされたというのが最大の理由だろう。」

現在、開放政策の支柱となっていた鄧氏を失脚させるわけにはいかない。そんなこと

一年目であった。これまでのパターンからすれば、政変が起きてても不思議

「ことだ。今回はその責任を取らされたというのが最大の理由だろう。」

現在、開放政策の支柱となっていた鄧氏を失脚させるわけにはいかない。そんなこと

「ことだ。今回はその責任を取らされたというのが最大の理由だろう。」

現在、開放政策の支柱となっていた鄧氏を失脚させるわけにはいかない。そんなこと

「ことだ。今回はその責任を取らされたというのが最大の理由だろう。」

現在、開放政策の支柱となっていた鄧氏を失脚させるわけにはいかない。そんなこと

官房長官